



2022年3月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖粟 道郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 中上 貴久

TEL 025-224-7111

四半期報告書提出予定日 2021年11月19日

配当支払開始予定日

2021年12月1日

特定取引勘定設置の有無 無

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	69,045	5.0	11,411	5.4	7,612	11.9
2021年3月期中間期	72,728	3.1	10,821	17.0	6,801	21.1

(注) 包括利益 2022年3月期中間期 8,262百万円 (65.0%) 2021年3月期中間期 23,623百万円 (257.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期中間期	166.50	165.77
2021年3月期中間期	148.91	148.13

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	10,253,696	458,147	4.2
2021年3月期	9,706,533	453,845	4.4

(参考) 自己資本 2022年3月期中間期 439,096百万円 2021年3月期 434,673百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権 - 期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。
なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期		60.00		60.00	120.00
2022年3月期		60.00			
2022年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,100	2.2	11,000	1.8	242.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料 P. 9 「2. (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期中間期	45,942,978 株	2021年3月期	45,942,978 株
期末自己株式数	2022年3月期中間期	538,276 株	2021年3月期	236,005 株
期中平均株式数(中間期)	2022年3月期中間期	45,718,346 株	2021年3月期中間期	45,672,427 株

(個別業績の概要)

2022年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(2021年4月1日～2021年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は、対前年中間期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期中間期	5,839	40.4	5,449	93.1	5,497	94.7	5,451	96.3
2021年3月期中間期	4,156	11.4	2,821	19.7	2,822	15.2	2,776	15.7

	1株当たり中間純利益
	円 銭
2022年3月期中間期	119.23
2021年3月期中間期	60.79

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期中間期	324,635	323,557	99.5
2021年3月期	322,242	321,933	99.6

(参考) 自己資本 2022年3月期中間期 323,138百万円 2021年3月期 321,241百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計 - 期末新株予約権)を期末資産の部合計で除して算出しております。

なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、第2四半期会計期間につきましては、中間連結財務諸表及び中間財務諸表を作成しております。

[添付資料の目次]

1. 当中間期決算に関する定性的情報	P. 2
(1)経営成績に関する説明	P. 2
(2)財政状態に関する説明	P. 2
(3)業績予想に関する説明	P. 2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記.....	P. 3
(1)中間連結貸借対照表	P. 3
(2)中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 5
(3)中間連結株主資本等変動計算書	P. 7
(4)中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記).....	P. 9
(会計方針の変更).....	P. 9
(追加情報).....	P. 9
(重要な後発事象).....	P. 10
3. 中間財務諸表及び主な注記.....	P. 12
(1)中間貸借対照表	P. 12
(2)中間損益計算書	P. 14
(3)中間株主資本等変動計算書	P. 15
(4)中間財務諸表に関する注記事項	P. 15
(継続企業の前提に関する注記).....	P. 15

※2022年3月期第2四半期決算説明資料

1.【当中間期決算に関する定性的情報】

(1)【経営成績に関する説明】

当中間連結会計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、株式等売却益の減少等により前年同期比 36 億 83 百万円減少し、690 億 45 百万円となりました。

経常費用は、営業経費の減少等により、前年同期比 42 億 73 百万円減少し、576 億 34 百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比 5 億 90 百万円増加し、114 億 11 百万円となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比 8 億 11 百万円増加し、76 億 12 百万円となりました。

(2)【財政状態に関する説明】

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比 5,471 億円増加し、10 兆 2,536 億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比 43 億円増加し、4,581 億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比 1,090 億円減少し、8 兆 43 億円となりました。また、譲渡性預金は前連結会計年度末比 920 億円増加し、1,688 億円となりました。

貸出金は、前連結会計年度末比 804 億円増加し、5 兆 179 億円となりました。

有価証券は、前連結会計年度末比 710 億円増加し、2 兆 5,221 億円となりました。

(3)【業績予想に関する説明】

当中間連結会計期間における親会社株主に帰属する中間純利益は、2021 年 5 月 14 日公表の 2022 年 3 月期通期業績予想対比で約 69%の進捗率となっておりますが、経営環境等、今後の動向を見極める必要があることから、2022 年 3 月期の通期の業績予想につきましては変更ありません。

なお、今後、新型コロナウイルス感染症の影響等に変化が生じ、業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 【中間連結財務諸表及び主な注記】

(1) 【中間連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
現金預け金	2,055,703	2,455,316
買入金銭債権	13,080	11,032
商品有価証券	3,234	3,067
有価証券	2,451,146	2,522,159
貸出金	4,937,462	5,017,960
外国為替	16,802	14,704
その他資産	147,069	149,662
有形固定資産	57,864	57,611
無形固定資産	17,246	15,424
退職給付に係る資産	11,584	12,222
繰延税金資産	1,167	1,158
支払承諾見返	18,614	18,969
貸倒引当金	△24,443	△25,593
資産の部合計	9,706,533	10,253,696
負債の部		
預金	8,113,424	8,004,372
譲渡性預金	76,876	168,895
売現先勘定	111,132	89,556
債券貸借取引受入担保金	188,425	257,304
借入金	663,603	1,167,639
外国為替	186	179
信託勘定借	202	214
その他負債	62,599	71,679
賞与引当金	2,682	2,334
役員賞与引当金	127	—
株式報酬引当金	—	38
退職給付に係る負債	694	679
役員退職慰労引当金	41	28
睡眠預金払戻損失引当金	1,831	1,607
システム解約損失引当金	12	—
偶発損失引当金	1,401	1,418
特別法上の引当金	15	16
繰延税金負債	5,646	5,444
再評価に係る繰延税金負債	5,169	5,169
支払承諾	18,614	18,969
負債の部合計	9,252,687	9,795,549

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当中間連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	87,665	87,608
利益剰余金	271,627	276,375
自己株式	△808	△1,563
株主資本合計	388,485	392,420
その他有価証券評価差額金	39,948	42,419
繰延ヘッジ損益	△4,452	△6,277
土地再評価差額金	6,266	6,266
退職給付に係る調整累計額	4,426	4,268
その他の包括利益累計額合計	46,188	46,676
新株予約権	692	418
非支配株主持分	18,479	18,632
純資産の部合計	453,845	458,147
負債及び純資産の部合計	9,706,533	10,253,696

(2) 【中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書】

【中間連結損益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
経常収益	72,728	69,045
資金運用収益	33,145	31,500
(うち貸出金利息)	23,050	22,757
(うち有価証券利息配当金)	9,823	8,358
信託報酬	0	0
役務取引等収益	13,671	14,434
その他業務収益	16,236	17,275
その他経常収益	9,674	5,834
経常費用	61,907	57,634
資金調達費用	1,825	1,194
(うち預金利息)	432	285
役務取引等費用	4,316	4,262
その他業務費用	13,473	13,444
営業経費	35,395	32,553
その他経常費用	6,896	6,179
経常利益	10,821	11,411
特別利益	0	—
固定資産処分益	0	—
金融商品取引責任準備金取崩額	0	—
特別損失	104	36
固定資産処分損	87	24
減損損失	17	11
金融商品取引責任準備金繰入額	—	1
税金等調整前中間純利益	10,717	11,374
法人税、住民税及び事業税	4,649	3,857
法人税等調整額	△1,056	△367
法人税等合計	3,592	3,490
中間純利益	7,124	7,884
非支配株主に帰属する中間純利益	323	272
親会社株主に帰属する中間純利益	6,801	7,612

【中間連結包括利益計算書】

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
中間純利益	7,124	7,884
その他の包括利益	16,499	378
その他有価証券評価差額金	13,800	2,361
繰延ヘッジ損益	2,298	△1,825
退職給付に係る調整額	400	△157
中間包括利益	23,623	8,262
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	22,919	8,099
非支配株主に係る中間包括利益	703	163

(3) 【中間連結株主資本等変動計算書】

前中間連結会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,000	87,670	266,161	△1,023	382,809
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,738		△2,738
親会社株主に帰属する中間純利益			6,801		6,801
自己株式の取得				△1	△1
自己株式の処分		△3		175	172
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△3	4,062	173	4,232
当中間期末残高	30,000	87,667	270,224	△849	387,042

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	20,596	△14,856	6,417	△6,850	5,307	767	17,569	406,453
当中間期変動額								
剰余金の配当								△2,738
親会社株主に帰属する中間純利益								6,801
自己株式の取得								△1
自己株式の処分								172
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	13,420	2,298		400	16,118	△28	692	16,783
当中間期変動額合計	13,420	2,298	—	400	16,118	△28	692	21,016
当中間期末残高	34,017	△12,558	6,417	△6,450	21,425	739	18,262	427,469

当中間連結会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	30,000	87,665	271,627	△808	388,485
会計方針の変更による累積的影響額			△121		△121
会計方針の変更を反映した当期首残高	30,000	87,665	271,506	△808	388,363
当中間期変動額					
剰余金の配当			△2,742		△2,742
親会社株主に帰属する中間純利益			7,612		7,612
自己株式の取得				△1,085	△1,085
自己株式の処分		△57		330	273
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)					
当中間期変動額合計	—	△57	4,869	△755	4,057
当中間期末残高	30,000	87,608	276,375	△1,563	392,420

	その他の包括利益累計額					新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	39,948	△4,452	6,266	4,426	46,188	692	18,479	453,845
会計方針の変更による累積的影響額								△121
会計方針の変更を反映した当期首残高	39,948	△4,452	6,266	4,426	46,188	692	18,479	453,723
当中間期変動額								
剰余金の配当								△2,742
親会社株主に帰属する中間純利益								7,612
自己株式の取得								△1,085
自己株式の処分								273
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	2,470	△1,825		△157	487	△273	152	366
当中間期変動額合計	2,470	△1,825	—	△157	487	△273	152	4,423
当中間期末残高	42,419	△6,277	6,266	4,268	46,676	418	18,632	458,147

(4) 【中間連結財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

<収益認識に関する会計基準等の適用>

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取る見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる当中間連結財務諸表への影響はありません。

<時価の算定に関する会計基準等の適用>

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当中間連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第8項に従いデリバティブ取引の時価算定における時価調整手法について、市場で取引されるデリバティブ等から推計される観察可能なインプットを最大限利用する手法へと見直ししております。当該見直しは時価算定会計基準等の適用に伴うものであり、当社は、時価算定会計基準第20項また書きに定める経過措置に従い、当中間連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を当中間連結会計期間の期首の利益剰余金に反映しております。

この結果、当中間連結会計期間の期首の利益剰余金が121百万円減少、その他資産が32百万円増加、その他負債が207百万円増加、繰延税金資産が53百万円増加、1株当たり純資産が2円66銭減少しております。

また、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過措置に従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。これにより、地震デリバティブについては、従来、時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品として取得価額をもって中間連結貸借対照表価額としておりましたが、当中間連結会計期間末よりコスト・アプローチを用いて算定した時価をもって中間連結貸借対照表価額としております。

(追加情報)

<新型コロナウイルス感染症の影響>

国内における新型コロナウイルス感染症の感染者数は大幅に減少し各種規制が緩和されるなど、足元では社会経済活動の再開・活性化の動きが見られる一方、第6波発生による感染再拡大の可能性も考えられ、その影響は今後も一定期間継続するものと想定しております。

一部の貸出先については、業績や資金繰りの悪化等の影響を受けており、貸倒等の損失が発生しておりますが、足元の業績悪化の状況を可能な限り速やかに債務者区分判定に勘案する態勢としているほか、各種経済対策などによる信用悪化の抑制効果も見込まれることから、貸倒引当金の見積方法の変更等は実施しておりません。

ただし、今後の感染状況や収束時期等には多くの不確実性を含んでおり、追加的な損失発生などにより連結財務諸表に影響を与える可能性があります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定について、前連結会計年度の有価証券報告書における「重要な会計上の見積り」に記載した内容から重要な変更はありません。

<信託を活用した株式報酬制度の導入>

1. 取引の概要

当中間連結会計期間より、当社の監査等委員でない取締役(社外取締役および国内非居住者を除く。)および当社の連結子会社である株式会社第四北越銀行の監査等委員でない取締役(社外取締役および国内非居住者を除く。)および執行役員(国内非居住者を除く。当社の監査等委員でない取締役、株式会社第四北越銀行の監査等委員でない取締役および執行役員を併せて、以下「対象取締役等」という。)を対象に、当社株式の交付を行う信託型株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入致しました。

本制度の導入は、本年6月に改訂されたコーポレートガバナンス・コードや、本年3月に施行された改正会社法の趣旨を踏まえ、対象取締役等の報酬と当社の株式価値との連動性をより明確にし、当社グループの経営理念の実践や中期経営計画の実現による持続的な成長に向けた健全なインセンティブとして機能させることを目的としています。

本制度は、対象取締役等のうち一定の要件を充足する者を受益者として、当社の株主総会決議で承認を受けた範囲内の金銭に、株式会社第四北越銀行から同行の株主総会決議での承認を経て拠出された金銭を合わせて信託を設定し、当該信託は信託された金銭を原資として当社株式を株式市場から取得します。

信託期間中、予め定める株式交付規程に従い、受益者は一定のポイントの付与を受けた上で、退任時にかかるポイント数の50%に相当する数の当社株式(単元未満株式は切上げ)について交付を受け、残りの当社株式については、本信託内で換価処分した換価処分金相当額の金銭の給付を受けるものとします。

2. 信託が保有する当社株式

信託が保有する当社株式の帳簿価額及び株式数は、当中間連結会計期間末において1,083百万円、398千株であり、純資産の部に自己株式として計上しております。

（重要な後発事象）

当社は、2021年10月1日付で当社の連結子会社である第四リース株式会社、株式会社ホクギン経済研究所の株式を、完全子会社である株式会社第四北越銀行からの現物配当及び非支配株主からの株式取得により、当社グループ内の持分比率を100%に引き上げ、当社の完全子会社としております。

また同日付で当社の連結子会社であるだいし経営コンサルティング株式会社の株式を、完全子会社である株式会社第四北越銀行及び第四リース株式会社からの現物配当により取得し、当社の完全子会社としております。

当該株式取得の概要は以下のとおりであります。

1. 現物配当による子会社株式の取得

(1)取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業内容

結合当事企業の名称	事業の内容
第四リース株式会社	リース業
株式会社ホクギン経済研究所	経済・社会に関する調査研究・情報提供業務
だいし経営コンサルティング株式会社	ベンチャーキャピタル・コンサルティング業務

②企業結合日

2021年10月1日

③企業結合の法的形式

連結子会社からの現物配当

④結合後企業の名称

結合前当事企業の名称	結合後当事企業の名称
第四リース株式会社	第四北越リース株式会社
株式会社ホクギン経済研究所	第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社
だいし経営コンサルティング株式会社	第四北越キャピタルパートナーズ株式会社

⑤その他取引の概要に関する事項

グループ会社の再編等による事業の深化と規制緩和等を踏まえた新たな事業領域の探索を図るとともに、グループ会社機能の最大限の活用とグループ内連携の強化によって、地域経済への一層の貢献と当社連結利益の最大化を実現することを目的とするものです。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等として処理しております。

2. 当社による子会社株式の取得

(1)取引の概要

①結合当事企業の名称及びその事業内容

結合当事企業の名称	事業の内容
第四リース株式会社	リース業
株式会社ホクギン経済研究所	経済・社会に関する調査研究・情報提供業務

②企業結合日

2021年10月1日

③企業結合の法的形式

非支配株主からの株式取得

④結合後企業の名称

結合前当事企業の名称	結合後当事企業の名称
第四リース株式会社	第四北越リース株式会社
株式会社ホクギン経済研究所	第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社

⑤その他取引の概要に関する事項

本株式取得の目的については、上記1. (1)⑤「その他取引の概要に関する事項」に記載のとおりであります。

(2)実施した会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引等のうち、非支配株主との取引として処理しております。

(3)子会社株式の追加取得に関する事項

①第四リース株式会社

取得の対価 現金預け金 2,309 百万円

取得原価 2,309 百万円

②株式会社ホクギン経済研究所

取得の対価 現金預け金 42 百万円

取得原価 42 百万円

(4)非支配株主との取引に係る当社の持分変動に関する事項

①資本剰余金の主な変動要因

子会社株式の追加取得

②非支配株主との取引によって増加した資本剰余金の金額

11,257 百万円

3. 【中間財務諸表及び主な注記】

(1) 【中間貸借対照表】

(単位：百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,428	4,265
未収収益	656	279
未収還付法人税等	1,059	1,104
その他	368	301
流動資産合計	3,513	5,950
固定資産		
有形固定資産		
工具、器具及び備品	0	0
有形固定資産合計	0	0
無形固定資産		
商標権	9	8
ソフトウェア	23	19
無形固定資産合計	32	27
投資その他の資産		
投資有価証券	10	10
関係会社株式	318,630	318,630
繰延税金資産	55	14
その他	—	1
投資その他の資産合計	318,695	318,656
固定資産合計	318,728	318,684
資産の部合計	322,242	324,635
負債の部		
流動負債		
未払費用	41	11
未払配当金	25	30
未払法人税等	19	2
賞与引当金	139	26
役員賞与引当金	6	—
その他	75	0
流動負債合計	308	71
固定負債		
株式報酬引当金	—	4
長期預り金	—	1,001
固定負債合計	—	1,006
負債の部合計	308	1,078

(単位:百万円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当中間会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金		
資本準備金	7,500	7,500
その他資本剰余金	280,163	280,106
資本剰余金合計	287,663	287,606
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	4,386	7,095
利益剰余金合計	4,386	7,095
自己株式	△808	△1,563
株主資本合計	321,241	323,138
新株予約権	692	418
純資産の部合計	321,933	323,557
負債及び純資産の部合計	322,242	324,635

(2) 【中間損益計算書】

(単位:百万円)

	前中間会計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当中間会計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業収益		
関係会社受取配当金	2,756	5,430
関係会社受入手数料	1,399	409
その他	0	0
営業収益合計	4,156	5,839
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,335	389
営業費用合計	1,335	389
営業利益	2,821	5,449
営業外収益		
雑収入	0	47
営業外収益合計	0	47
経常利益	2,822	5,497
税引前中間純利益	2,822	5,497
法人税、住民税及び事業税	47	5
法人税等調整額	△1	40
法人税等合計	45	45
中間純利益	2,776	5,451

(3) 【中間株主資本等変動計算書】

前中間会計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	30,000	7,500	280,168	287,668	4,302	4,302	△1,023	320,948	767	321,715
当中間期変動額										
剰余金の配当					△2,738	△2,738		△2,738		△2,738
中間純利益					2,776	2,776		2,776		2,776
自己株式の取得							△1	△1		△1
自己株式の処分			△3	△3			175	172		172
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									△28	△28
当中間期変動額合計	—	—	△3	△3	37	37	173	208	△28	180
当中間期末残高	30,000	7,500	280,165	287,665	4,340	4,340	△849	321,156	739	321,895

当中間会計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本								新株予約権	純資産合計
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		自己株式	株主資本合計		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
当期首残高	30,000	7,500	280,163	287,663	4,386	4,386	△808	321,241	692	321,933
当中間期変動額										
剰余金の配当					△2,742	△2,742		△2,742		△2,742
中間純利益					5,451	5,451		5,451		5,451
自己株式の取得							△1,085	△1,085		△1,085
自己株式の処分			△57	△57			330	273		273
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)									△273	△273
当中間期変動額合計	—	—	△57	△57	2,708	2,708	△755	1,896	△273	1,623
当中間期末残高	30,000	7,500	280,106	287,606	7,095	7,095	△1,563	323,138	418	323,557

(4) 【中間財務諸表に関する注記事項】

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

2022年3月期第2四半期決算説明資料

【目次】

I	2022年3月期第2四半期決算ダイジェスト	1
II	2022年3月期第2四半期決算の概況	
	1. 損益状況	6
	2. 業務純益	8
	3. 利鞘	8
	(1) 全店分	8
	(2) 国内業務部門	8
	4. 預金等、貸出金残高	9
	5. 預かり資産残高	9
	6. ROE	9
	7. 有価証券関係損益	10
	8. 有価証券の評価損益	10
	(1) 有価証券の評価基準	10
	(2) 評価損益	10
	9. 自己資本比率	11
III	貸出金等の状況	
	1. 金融再生法開示債権	12
	2. リスク管理債権の状況	12
	3. 貸倒引当金等の状況	13
	4. 自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況	13
	5. 業種別貸出状況等	14
	(1) 業種別貸出金	14
	(2) 業種別リスク管理債権	14
	(3) 中小企業等貸出金	14
IV	2022年3月期業績予想	
	1. 第四北越フィナンシャルグループ 連結	15
	2. 第四北越銀行 単体	15

(注) 1. 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 利回り、比率は小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
 3. 「II 2022年3月期第2四半期決算の概況」以下の2020年9月期比、2020年9月末比、
 2021年3月末比欄等の計数は、表上の数値による計算結果を表示しております。

【計数の表示方法について】

2021年1月1日付で、当社の完全子会社である第四銀行及び北越銀行は、第四銀行を存続会社、北越銀行を消滅会社として合併を行い、商号を第四北越銀行に変更しております。

本決算説明資料における第四北越銀行の計数につきましては、各項目の適正な期間比較を行う観点から、下記のルールに則り算出した計数を記載しております。

・2021年9月期、2021年9月末、2021年3月末の計数

 第四北越銀行の計数

・2021年3月期

 2020年4月～12月の第四銀行及び北越銀行の計数と、2021年1月以降の第四北越銀行の計数を単純合算

・2020年9月期、2020年9月末(自己資本比率を除く)

 第四銀行及び北越銀行の計数を単純合算

・2020年9月末(自己資本比率)の計数

 第四銀行及び北越銀行のそれぞれの計数

I 2022年3月期第2四半期決算ダイジェスト

1. 損益の状況

(1) 第四北越フィナンシャルグループ連結損益

- 連結粗利益は前年同期比8億円増益の443億円となりました。
資金利益は10億円減益となったものの、役員取引等利益は8億円、その他業務利益は10億円それぞれ増益となりました。
- 経常利益は前年同期比5億円増益の114億円となりました。(5月公表値比+32億円、+39%)
株式等関係損益が31億円減少したものの、連結粗利益の増益に加え、営業経費が28億円減少したためです。
- 親会社株主に帰属する中間純利益は前年同期比8億円増益の76億円となりました。
(5月公表値比+24億円、+46%)

(単位:億円)

	2021年9月期	2020年9月期	
		2020年9月期比	2020年9月期
連結粗利益	443	8	434
資金利益	303	△10	313
役員取引等利益	101	8	93
その他業務利益	38	10	27
営業経費	325	△28	353
貸倒償却引当費用	40	△1	41
貸出金償却	21	16	4
個別貸倒引当金繰入額	16	△15	31
一般貸倒引当金繰入額	1	△2	3
延滞債権等売却損	—	△0	0
その他	1	△0	1
貸倒引当金戻入益	—	—	—
償却債権取立益	2	△3	5
株式等関係損益	30	△31	62
その他	3	3	0
経常利益	114	5	108
特別損益	△0	0	△1
税金等調整前中間純利益	113	6	107
法人税、住民税及び事業税	38	△7	46
法人税等調整額	△3	6	△10
中間純利益	78	7	71
非支配株主に帰属する中間純利益	2	△0	3
親会社株主に帰属する中間純利益	76	8	68

<参考>2021年9月期業績予想(2021年5月14日当初公表値)

(単位:億円)

経常利益	82
親会社株主に帰属する中間純利益	52

(2) 第四北越銀行 単体

- 業務粗利益は、前年同期比10億円減益の386億円となりました。
- ・資金利益は、円建債券の利回り低下等による有価証券利息配当金の減少を主因に前年同期比11億円減益の309億円となりました。
- ・役務取引等利益は、保険窓口販売や投資信託関連手数料等の資産運用アドバイス収益および事業承継やM&A手数料等の金融ソリューション収益の増加等を主因に前年同期比2億円増益の67億円となりました。
- ・その他業務利益は、お客様の為替リスクや金利リスクのヘッジを目的としたデリバティブ収益が増加したものの、国債等債券損益が減少したことにより前年同期比横ばいの9億円となりました。
- 実質業務純益は、業務粗利益が減益となった一方、銀行合併に伴うコストシナジーの発揮により経費が23億円減少したことから、前年同期比12億円増益の85億円となり、国債等債券損益を控除したコア業務純益は前年同期比26億円増益の113億円となりました。
- 経常利益は、株式等関係損益が株式等売却益の減少等により43億円減少し、ネット信用コストが3億円増加した結果、前年同期比20億円減益の84億円となりました。
- 中間純利益は、法人税等税金関係費用が8億円減少したこと等により前年同期比11億円減益の60億円となりました。

(単位:億円)

	2021年9月期		2020年9月期
		2020年9月期比	
業務粗利益	386	△ 10	397
(うちコア業務粗利益)	(414)	(2)	(411)
資金利益	309	△ 11	321
(うち貸出金利息)	(226)	(2)	(229)
(うち有価証券利息配当金)	(91)	(△ 16)	(107)
(うち投資信託解約損益)	(—)	(—)	(—)
(うち資金調達費用)	(11)	(△ 6)	(18)
役務取引等利益	67	2	65
その他業務利益	9	△ 0	10
(除く国債等債券損益)	(37)	(12)	(24)
(うち国債等債券損益)	(△ 28)	(△ 13)	(△ 14)
経費(除く臨時処理分)	300	△ 23	324
人件費	159	0	158
物件費	124	△ 19	143
税金	17	△ 4	22
実質業務純益	85	12	73
(コア業務純益)	(113)	(26)	(87)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	(113)	(26)	(87)
一般貸倒引当金繰入額①	1	△ 2	4
業務純益	84	15	69
臨時損益	0	△ 36	36
うち不良債権処理額②	37	1	35
うち貸倒引当金戻入益③	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益④	—	△ 0	0
うち償却債権取立益⑤	2	△ 3	5
うち株式等関係損益	30	△ 43	74
経常利益	84	△ 20	105
特別損益	△ 0	0	△ 1
うち減損損失	—	△ 0	0
法人税等税金関係費用	24	△ 8	32
中間純利益	60	△ 11	71
ネット信用コスト①+②-③-④-⑤	35	3	32

2. 預金・預かり資産の状況(第四北越銀行 単体)

(1) 預金

○譲渡性預金を含めた預金等残高は、法人および個人預金が増加したことを主因に前年同期比2,359億円増加し、8兆2,117億円となりました。
 ○県内預金等残高は、前年同期比2,397億円増加し、8兆401億円となりました。

(単位:億円)

	2021年9月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
預金等残高	82,117	2,359	79,758
うち県内預金等残高	80,401	2,397	78,004
うち法人預金等残高	22,370	619	21,751
うち個人預金等残高	54,437	1,864	52,572

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

(2) 預かり資産

○預かり資産残高と預金等残高合計で前年同期比2,710億円増加し、9兆393億円となりました。公共債は66億円減少いたしました。投資信託は128億円、保険は288億円、預金等残高は2,359億円それぞれ増加いたしました。

(単位:億円)

	2021年9月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
預かり資産残高	8,275	351	7,924
投資信託	1,817	128	1,688
公共債	832	△66	898
保険	5,625	288	5,337
預金等残高	82,117	2,359	79,758
合計残高	90,393	2,710	87,682

(注)保険残高については、子銀行の合併に伴い算出方法を統一したため、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数との比較を記載しております。

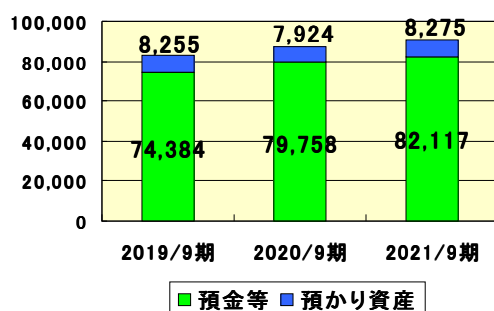
3. 貸出金の状況(第四北越銀行 単体)

○貸出金の期末残高は、県内では中小企業向け貸出が前年の新型コロナウイルス対応への支援の反動により減少したものの、個人向けの消費性貸出が堅調に増加したほか、県外の事業性貸出や公金貸出が増加したことなどから、前年同期比417億円増加し、5兆393億円となりました。

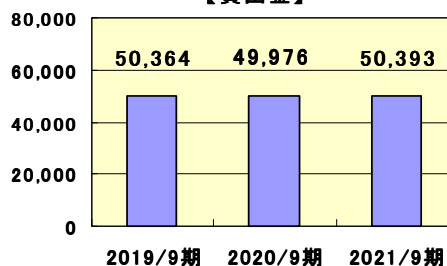
(単位:億円)

	2021年9月末		2020年9月末
		2020年9月末比	
貸出金残高	50,393	417	49,976
県内事業性貸出残高	17,421	△699	18,120
うち中小企業向け貸出残高	14,584	△647	15,232
県外事業性貸出残高	9,910	416	9,493
うち中小企業向け貸出残高	4,342	108	4,234
消費性貸出残高	13,670	321	13,349
公金貸出残高	9,390	377	9,012

【預金等と預かり資産】



【貸出金】



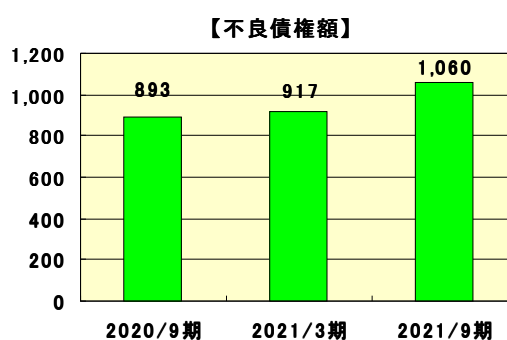
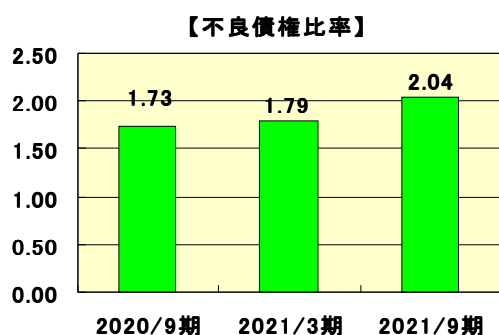
4. 不良債権の状況(第四北越銀行 単体)

○不良債権額は前年度末比143億円増加し、1,060億円となり、債権額に占める割合である不良債権比率は前年度末比0.25%上昇し、2.04%となりました。

【金融再生法開示債権】

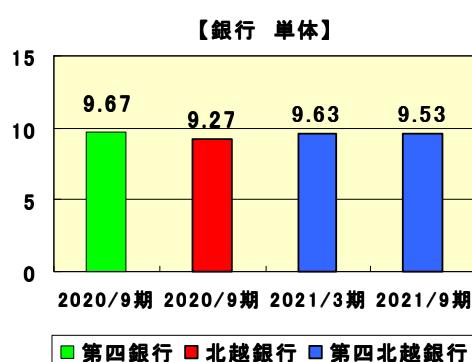
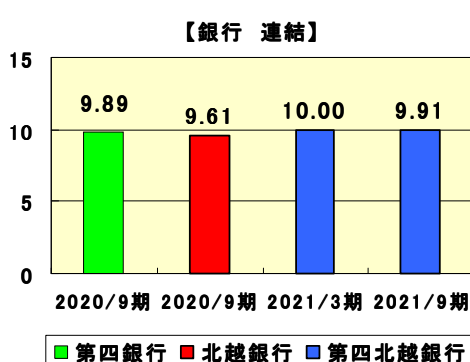
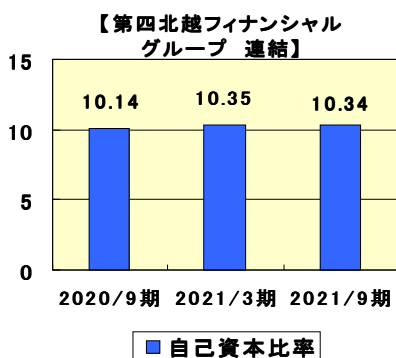
(単位:億円)

	2021年9月末	2021年3月末比	2021年3月末
	破産更生等債権	66	2
危険債権	946	135	810
要管理債権	47	5	41
小計 (A)	1,060	143	917
正常債権	50,884	581	50,303
債権額合計 (B)	51,945	724	51,220
不良債権比率 (A)/(B)	2.04%	0.25%	1.79%



5. 自己資本比率(国内基準)

○FG連結の自己資本比率は、前年度末比0.01%低下し、10.34%となりました。
 早期是正措置の国内基準である4%、国際基準である8%を十分上回る水準を確保しております。



6. 2022年3月期業績予想

○中間決算は2021年5月14日に公表した業績予想値(以下「当初公表値」)を上回ったものの、通期の業績予想値は、新型コロナウイルスの影響およびエネルギー価格上昇や世界的な半導体不足による経済への影響などが不透明であることなどから、当初公表値を据え置いております。

(1) 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期 実績
	予想	2021年3月期比	
経常利益	171	△ 4	175
親会社株主に帰属する当期純利益	110	2	107

(2) 第四北越銀行 単体

(単位:億円)

	2022年3月期		2021年3月期 実績
	予想	2021年3月期比	
コア業務純益	165	12	152
経常利益	125	△ 22	147
当期純利益	87	△ 14	101

II 2022年3月期第2四半期決算の概況

1. 損益状況

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

		2021年9月期		2020年9月期
			2020年9月期比	
連結粗利益	1	44,310	871	43,439
資金利益	2	30,306	△1,014	31,320
役務取引等利益	3	10,172	817	9,355
その他業務利益	4	3,831	1,069	2,762
営業経費	5	32,553	△2,842	35,395
貸倒償却引当費用	6	4,022	△121	4,143
貸出金償却	7	2,115	1,657	458
個別貸倒引当金繰入額	8	1,669	△1,528	3,197
一般貸倒引当金繰入額	9	100	△239	339
延滞債権等売却損	10	—	△3	3
その他	11	137	△8	145
貸倒引当金戻入益	12	—	—	—
償却債権取立益	13	229	△363	592
株式等関係損益	14	3,082	△3,183	6,265
その他	15	364	301	63
経常利益	16	11,411	590	10,821
特別損益	17	△36	67	△103
税金等調整前中間純利益	18	11,374	657	10,717
法人税、住民税及び事業税	19	3,857	△792	4,649
法人税等調整額	20	△367	689	△1,056
中間純利益	21	7,884	760	7,124
非支配株主に帰属する中間純利益	22	272	△51	323
親会社株主に帰属する中間純利益	23	7,612	811	6,801

(注)連結粗利益=(資金運用収益-(資金調達費用-金銭の信託運用見合費用))

+ (役務取引等収益-役務取引等費用) + (その他業務収益-その他業務費用)

(参考)

(単位:百万円)

連結業務純益	24	11,501	3,005	8,496
--------	----	--------	-------	-------

(注)連結業務純益=第四北越銀行業務純益+その他の会社の業務純益+関連会社業務純益×持分-内部取引

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

		2021年9月期		2020年9月期
			2020年9月期比	
業務粗利益	1	38,656	△1,075	39,731
(うちコア業務粗利益)	2	(41,478)	(294)	(41,184)
資金利益	3	30,961	△1,198	32,159
(うち貸出金利息)	4	(22,653)	(△298)	(22,951)
(うち有価証券利息配当金)	5	(9,102)	(△1,643)	(10,745)
(うち投資信託解約損益)	6	(—)	(—)	(—)
(うち資金調達費用)	7	(1,177)	(△627)	(1,804)
役務取引等利益	8	6,780	212	6,568
その他業務利益	9	914	△89	1,003
(除く国債等債券損益)	10	(3,736)	(1,280)	(2,456)
(うち国債等債券損益)	11	(△2,821)	(△1,368)	(△1,453)
経費(除く臨時処理分)	12	30,084	△2,338	32,422
人件費	13	15,931	38	15,893
物件費	14	12,403	△1,901	14,304
税金	15	1,749	△474	2,223
実質業務純益	16	8,572	1,264	7,308
(コア業務純益)	17	(11,394)	(2,632)	(8,762)
(コア業務純益(除く投資信託解約損益))	18	(11,394)	(2,632)	(8,762)
一般貸倒引当金繰入額①	19	109	△294	403
業務純益	20	8,462	1,557	6,905
臨時損益	21	11	△3,605	3,616
うち不良債権処理額②	22	3,704	181	3,523
(貸倒償却引当費用①+②)	23	(3,814)	(△112)	(3,926)
うち貸倒引当金戻入益	24	—	—	—
うち偶発損失引当金戻入益	25	—	△95	95
うち償却債権取立益	26	224	△364	588
うち株式等関係損益	27	3,056	△4,369	7,425
経常利益	28	8,474	△2,048	10,522
特別損益	29	△23	79	△102
うち固定資産処分損益	30	△23	66	△89
うち減損損失	31	—	△13	13
税引前中間純利益	32	8,451	△1,969	10,420
法人税、住民税及び事業税	33	2,873	△1,047	3,920
法人税等調整額	34	△425	247	△672
中間純利益	35	6,003	△1,169	7,172
(参考)				
ネット信用コスト 19+22-24-25-26	36	3,589	346	3,243

※コア業務粗利益＝業務粗利益－国債等債券損益

※実質業務純益＝業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

※コア業務純益＝コア業務粗利益－経費(除く臨時処理分)

2. 業務純益

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月期		2020年9月期
		2020年9月期比	
業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	8,572	1,264	7,308
職員一人当たり(千円)	2,569	449	2,120
コア業務純益	11,394	2,632	8,762
職員一人当たり(千円)	3,415	873	2,542
業務純益	8,462	1,557	6,905
職員一人当たり(千円)	2,536	533	2,003

3. 利鞘

(1) 全店分

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2021年9月期		2020年9月期
		2020年9月期比	
資金運用利回 ①	0.75	△ 0.07	0.82
貸出金利回 ②	0.90	△ 0.01	0.91
有価証券利回 ③	0.74	△ 0.14	0.88
資金調達利回 ④	0.02	△ 0.02	0.04
預金等利回 ⑤	0.00	△ 0.01	0.01
外部負債利回 ⑥	0.02	△ 0.05	0.07
預金等原価 ⑦	0.73	△ 0.09	0.82
経費率 ⑧	0.72	△ 0.09	0.81
資金調達原価 ⑨	0.66	△ 0.11	0.77
預貸金レート差 ②-⑤	0.90	0.00	0.90
運用・調達レート差 ①-④	0.73	△ 0.05	0.78
預貸金利鞘 ②-⑦	0.17	0.08	0.09
総資金利鞘 ①-⑨	0.09	0.04	0.05

(2) 国内業務部門

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2021年9月期		2020年9月期
		2020年9月期比	
資金運用利回 ①	0.72	△ 0.06	0.78
貸出金利回 ②	0.90	△ 0.01	0.91
有価証券利回 ③	0.67	△ 0.12	0.79
資金調達利回 ④	0.01	0.00	0.01
預金等利回 ⑤	0.00	0.00	0.00
外部負債利回 ⑥	0.00	0.00	△ 0.00
預金等原価 ⑦	0.72	△ 0.09	0.81
経費率 ⑧	0.71	△ 0.09	0.80
資金調達原価 ⑨	0.66	△ 0.10	0.76
預貸金レート差 ②-⑤	0.90	△ 0.01	0.91
運用・調達レート差 ①-④	0.71	△ 0.06	0.77
預貸金利鞘 ②-⑦	0.18	0.08	0.10
総資金利鞘 ①-⑨	0.06	0.04	0.02

4. 預金等、貸出金残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末	2021年3月末比		2020年9月末比		2021年3月末	2020年9月末
		増減額	増減率	増減額	増減率		
預金等残高(末残)	8,211,790	△ 11,708	△ 0.14%	235,958	2.95%	8,223,498	7,975,832
新潟県内	8,040,196	△ 11,909	△ 0.14%	239,741	3.07%	8,052,105	7,800,455
新潟県外	171,594	201	0.11%	△ 3,782	△ 2.15%	171,393	175,376
預金等残高(平残)	8,273,044	305,048	3.82%	352,371	4.44%	7,967,996	7,920,673
新潟県内	8,100,026	304,145	3.90%	350,740	4.52%	7,795,881	7,749,286
新潟県外	173,017	902	0.52%	1,631	0.95%	172,115	171,386
貸出金残高(末残)	5,039,339	79,718	1.60%	41,711	0.83%	4,959,621	4,997,628
新潟県内	3,802,460	△ 9,591	△ 0.25%	△ 67,758	△ 1.75%	3,812,051	3,870,218
新潟県外	1,236,879	89,309	7.78%	109,469	9.70%	1,147,570	1,127,410
貸出金残高(平残)	4,974,708	△ 1,773	△ 0.03%	△ 10,370	△ 0.20%	4,976,481	4,985,078
新潟県内	3,799,885	△ 16,782	△ 0.43%	14,414	0.38%	3,816,667	3,785,471
新潟県外	1,174,823	15,010	1.29%	△ 24,783	△ 2.06%	1,159,813	1,199,606

※預金等残高＝預金＋譲渡性預金

5. 預かり資産残高

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末	2021年3月末比		2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
預かり資産残高	827,567	11,977	35,136	815,590	792,431
投資信託	181,771	2,883	12,899	178,888	168,872
公共債	83,222	△ 3,171	△ 6,611	86,393	89,833
保険	562,574	12,266	28,848	550,308	533,726

(注)保険残高については、子銀行の合併に伴い算出方法を統一したため、過年度との比較の観点から、過去に遡り変更した計数との比較を記載しております。

6. ROE

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:%)

	2021年9月期	2020年9月期比		2020年9月期
		2020年9月期比	2020年9月期	
経常利益ベース	5.20	△ 0.21	5.41	
親会社株主に帰属する中間純利益ベース	3.47	0.07	3.40	

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高(除く新株予約権及び非支配株主持分)により算出しております。

【第四北越銀行 単体】

(単位:%)

	2021年9月期	2020年9月期比		2020年9月期
		2020年9月期比	2020年9月期	
経常利益ベース	4.11	△ 1.30	5.41	
中間純利益ベース	2.91	△ 0.77	3.68	

(注)「純資産の部」の期首と期末の平均残高により算出しております。

なお、2020年9月期の「純資産の部」の期首及び期末残高は第四銀行及び北越銀行の2020年4月1日及び2020年9月30日時点の純資産を合算しております。

7. 有価証券関係損益

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月期		2020年9月期
			2020年9月期比
国債等債券損益(5勘定戻)	△ 2,821	△ 1,368	△ 1,453
売却益	1,745	△ 299	2,044
償還益	—	△27	27
売却損	841	497	344
償還損	3,597	425	3,172
償却	127	119	8
株式等損益(3勘定戻)	3,056	△ 4,369	7,425
売却益	4,841	△ 4,475	9,316
売却損	1,514	75	1,439
償却	271	△ 180	451

8. 有価証券の評価損益

(1) 有価証券の評価基準

売買目的有価証券	時価法(評価差額を損益処理)
満期保有目的有価証券	償却原価法
その他有価証券	時価法(評価差額を全部純資産直入法)
子会社株式及び関連会社株式	原価法

(2) 評価損益

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2021年9月末					2021年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額	2021年3月末比			貸借対照表 計上額	評価差額	うち	
			2021年3月末比	うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的	1,761	1	△93	5	3	27,531	94	100	5
その他有価証券	2,512,634	63,058	3,454	83,797	20,739	2,415,072	59,604	86,068	26,464
株式	141,476	48,121	△1,789	51,068	2,947	142,388	49,910	53,077	3,166
債券	1,508,600	3,749	1,581	8,535	4,785	1,494,738	2,168	8,760	6,591
その他	862,557	11,187	3,663	24,193	13,005	777,945	7,524	24,230	16,705
うち外国債券	414,268	13,212	△435	14,858	1,646	405,297	13,647	15,155	1,508
合計	2,514,395	63,060	3,362	83,803	20,742	2,442,603	59,698	86,168	26,469

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末					2021年3月末			
	貸借対照表 計上額	評価差額	2021年3月末比			貸借対照表 計上額	評価差額	うち	
			2021年3月末比	うち益	うち損			うち益	うち損
満期保有目的	1,761	1	△93	5	3	27,531	94	100	5
その他有価証券	2,500,022	66,303	3,166	87,634	21,331	2,402,714	63,137	90,859	27,721
株式	128,865	49,749	△1,980	51,932	2,183	130,030	51,729	54,247	2,518
債券	1,508,600	6,065	1,047	10,805	4,739	1,494,738	5,018	11,564	6,546
その他	862,557	10,488	4,099	24,896	14,407	777,945	6,389	25,047	18,657
うち外国債券	414,268	13,442	△481	15,086	1,643	405,297	13,923	15,430	1,507
合計	2,501,784	66,305	3,073	87,640	21,334	2,430,246	63,232	90,959	27,727

9. 自己資本比率

【第四北越フィナンシャルグループ 連結】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
(1)自己資本比率 (2)/(3)	10.34%	△ 0.01%	0.20%	10.35%	10.14%
(2)自己資本 ①-②	392,660	4,524	8,764	388,136	383,896
コア資本に係る基礎項目 ①	411,880	3,701	14,668	408,179	397,212
コア資本に係る調整項目 ②	19,220	△ 822	5,905	20,042	13,315
(3)リスクアセット	3,795,965	48,666	11,780	3,747,299	3,784,185
(4)総所要自己資本額	151,838	1,947	471	149,891	151,367

【第四北越銀行 連結】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2020年9月末	
		2021年3月末比	2021年3月末	第四銀行	北越銀行
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.91%	△ 0.09%	10.00%	9.89%	9.61%
(2)自己資本 ①-②	374,120	1,581	372,539	265,656	103,564
コア資本に係る基礎項目 ①	393,306	761	392,545	275,972	106,528
コア資本に係る調整項目 ②	19,186	△ 819	20,005	10,315	2,963
(3)リスクアセット	3,773,481	49,636	3,723,845	2,685,453	1,077,603
(4)総所要自己資本額	150,939	1,986	148,953	107,418	43,104

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2020年9月末	
		2021年3月末比	2021年3月末	第四銀行	北越銀行
(1)自己資本比率 (2)/(3)	9.53%	△ 0.10%	9.63%	9.67%	9.27%
(2)自己資本 ①-②	355,700	1,114	354,586	255,478	99,412
コア資本に係る基礎項目 ①	371,265	409	370,856	266,931	103,517
コア資本に係る調整項目 ②	15,565	△ 704	16,269	11,452	4,104
(3)リスクアセット	3,729,129	49,116	3,680,013	2,641,716	1,071,989
(4)総所要自己資本額	149,165	1,965	147,200	105,668	42,879

Ⅲ 貸出金等の状況

1. 金融再生法開示債権

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
破産更生等債権	6,643	213	△ 169	6,430	6,812
破綻先債権	1,805	△ 70	△ 229	1,875	2,034
実質破綻先債権	4,837	282	60	4,555	4,777
危険債権	94,667	13,580	16,439	81,087	78,228
要管理債権	4,717	526	389	4,191	4,328
小計(A)	106,028	14,319	16,658	91,709	89,370
正常債権	5,088,487	58,179	17,099	5,030,308	5,071,388
債権額合計(B)	5,194,516	72,498	33,758	5,122,018	5,160,758
不良債権比率(A)÷(B)	2.04%	0.25%	0.31%	1.79%	1.73%
保全額(C)	90,203	12,576	14,997	77,627	75,206
貸倒引当金	11,499	1,069	△ 1,997	10,430	13,496
担保保証等	78,703	11,507	16,994	67,196	61,709
保全率(C)÷(A)	85.07%	0.43%	0.92%	84.64%	84.15%

2. リスク管理債権の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末	
		2021年3月末比	2020年9月末比			
リスク管理債権	破綻先債権額	1,636	△63	△186	1,699	1,822
	延滞債権額	97,786	13,642	15,512	84,144	82,274
	3ヵ月以上延滞債権額	1,052	430	676	622	376
	貸出条件緩和債権額	3,664	96	△288	3,568	3,952
	計	104,139	14,104	15,714	90,035	88,425
貸出金残高(末残)	5,039,339	79,718	41,711	4,959,621	4,997,628	
					(単位:%)	
貸出金残高比	破綻先債権額	0.03	0.00	0.00	0.03	0.03
	延滞債権額	1.94	0.25	0.30	1.69	1.64
	3ヵ月以上延滞債権額	0.02	0.01	0.02	0.01	0.00
	貸出条件緩和債権額	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07
	計	2.06	0.25	0.30	1.81	1.76

3. 貸倒引当金等の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
貸倒引当金	21,181	1,141	△ 1,003	20,040	22,184
一般貸倒引当金	10,032	110	892	9,922	9,140
個別貸倒引当金	11,149	1,032	△ 1,895	10,117	13,044

(注)特定海外債権引当金は、該当ありません。

4. 自己査定結果と金融再生法開示債権及びリスク管理債権の状況

【第四北越銀行 単体】

(単位:億円)

自己査定における 債務者区分	保全額	引当金	保全率	金融再生法 開示債権	分類				リスク管理債権 (貸出金)
					非分類	Ⅱ分類	Ⅲ分類	Ⅳ分類	
破綻先	58	7	100.0%	破産更生等 債権	11 〔3〕	55	— 〔1〕	— 〔6〕	破綻先債権
18				66					延滞債権
実質破綻先				危険債権	669 〔566〕	149	127 〔230〕	977	3か月以上 延滞債権
48				要管理債権	3	53		10	貸出条件 緩和債権
破綻懸念先	715	103	86.5%	小計					36
946				1,060					合計
要 注 意 先	(12)	(3)	(34.2%)	正常債権	3	53			1,041
要管理先	15	4	34.1%	合計	48,664	3,153	127	—	
57									
その他の 要注意先					1,222	2,895			
4,118									
正常先(地公体 向けを含む)					46,756				
46,756									
合計									
51,945									

(注)〔〕内は引当前の分類金額

5. 業種別貸出状況等

(1) 業種別貸出金

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	5,039,339	79,718	41,711	4,959,621	4,997,628
製造業	479,616	△ 1,291	△ 30,265	480,907	509,881
農業、林業	7,607	△ 294	△ 960	7,901	8,567
漁業	2,058	△ 61	△ 484	2,119	2,542
鉱業、採石業、砂利採取業	4,186	△ 387	△ 1,947	4,573	6,133
建設業	159,973	△ 8,725	△ 19,163	168,698	179,136
電気・ガス・熱供給・水道業	124,068	△ 2,227	△ 3,722	126,295	127,790
情報通信業	15,203	△ 586	△ 4,885	15,789	20,088
運輸業、郵便業	128,455	△ 9,623	△ 10,861	138,078	139,316
卸売業、小売業	387,010	2,703	△ 6,230	384,307	393,240
金融業、保険業	354,620	37,183	30,713	317,437	323,907
不動産業、物品賃貸業	710,945	△ 4,479	5,907	715,424	705,038
各種サービス業	334,302	△ 9,909	△ 9,009	344,211	343,311
国・地方公共団体	939,036	56,774	37,788	882,262	901,248
その他	1,392,254	20,639	54,827	1,371,615	1,337,427

(2) 業種別リスク管理債権

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
国内店分(除く特別国際金融取引勘定分)	104,139	14,104	15,714	90,035	88,425
製造業	21,426	2,611	6,193	18,815	15,233
農業、林業	502	△ 73	△ 15	575	517
漁業	—	△ 93	△ 342	93	342
鉱業、採石業、砂利採取業	—	—	△ 36	—	36
建設業	12,142	1,104	1,748	11,038	10,394
電気・ガス・熱供給・水道業	744	734	583	10	161
情報通信業	1,089	92	△ 2,772	997	3,861
運輸業、郵便業	3,701	1,054	△ 1,130	2,647	4,831
卸売業、小売業	25,317	2,602	3,876	22,715	21,441
金融業、保険業	4	1	0	3	4
不動産業、物品賃貸業	6,954	925	△ 105	6,029	7,059
各種サービス業	23,246	4,160	7,103	19,086	16,143
国・地方公共団体	—	—	—	—	—
その他	9,010	987	613	8,023	8,397

(3) 中小企業等貸出金

【第四北越銀行 単体】

(単位:百万円)

	2021年9月末			2021年3月末	2020年9月末
		2021年3月末比	2020年9月末比		
中小企業等貸出残高(①+②)	3,259,823	△ 4,541	△ 21,749	3,264,364	3,281,572
中小企業向け貸出残高①	1,892,730	△ 23,499	△ 53,931	1,916,229	1,946,661
消費性貸出残高②	1,367,092	18,958	32,181	1,348,134	1,334,911
住宅資金貸出残高	1,255,440	17,320	29,112	1,238,120	1,226,328
その他消費性貸出残高	111,652	1,638	3,070	110,014	108,582
中小企業等貸出比率	64.68%	△ 1.13%	△ 0.98%	65.81%	65.66%

IV 2022年3月期業績予想

1. 第四北越フィナンシャルグループ 連結

(単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期 実績
	予想	2021年3月期比	
経常利益	17,100	△ 400	17,500
親会社株主に帰属する当期純利益	11,000	205	10,795

2. 第四北越銀行 単体

(単位:百万円)

	2022年3月期		2021年3月期 実績
	予想	2021年3月期比	
コア業務純益	16,500	1,227	15,273
経常利益	12,500	△ 2,291	14,791
当期純利益	8,700	△ 1,450	10,150

以 上